

2023年4月10日掲載 輸送新聞

第一貨物…米田総一郎社長

新しい力に期待を



第一貨物は、主に自社化によるコスト構造

改革と飛躍的業容拡大に向け、社員一丸となつて取り組んでいきます。正社員をもっと増やさねばなりません。その中で皆さん148人という一大勢力、新しい大きな力に期待し

ています。

2023年度が始まりましたが、正直、非常に厳しいスタートとなっております。消費者物価も約4%上昇しており、実質賃金の目減りを取り戻すべく、従業員の給与も4%アップしました。当然、皆さんの初任給も昨年比約4%アップしていま

す。

しかし、これらのコスト増分は、お客さまにご理解いただき、運賃条件等改善をお願いしないと、利益は確保できません。すでに2月から、全社員一丸となつて取り組んでいきます。ぜひ皆さんも頑張

けては、本格的な倉庫営業に踏み込むこととし、札幌、埼玉、千葉に新たな物流倉庫を構築し、新たに三つのロジ支店を開設しました。ロジ作業職はロジオペと職種名も変え、処遇も大幅に改善していきます。中央研修所もすでに多くの皆さんが見

古くて狭いです。建て替えに着手し、来年度には竣工します。より良い会社となるために、やるべき事はまだまだたくさんあります。ぜひ皆さんと力を合わせて、今日から仲間として一丸となつて頑張っていきましょう。

◆ 第一貨物の入社式

1日に山形市のホテルメトロポリタン山形で開催。事務職50人、運転職54人、整備職6人、ロジオペ職38人の合計148人が出席した。